



「富士山百景」いい日旅立ち

VOL. 2557

Rotary International

「変化する年度・第一歩」

第2557回例会 2016.11.9

ソング「奉仕の理想」



富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平塚本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:小 出 隆 久
 副会長:滝 克 芳
 幹 事:岸 本 泰 次
 副幹事:石 井 誠

会長挨拶

小 出 隆 久

富士市長 感謝状授与式について
 10月29日(土)に岩本山公園慈愛の丘におきまして、富士市役所都市整備部の皆さん及び会員の皆さんの参加により植樹完成式を行いました。
 小雨の中、ご苦労さまでした。
 今回、11月2日(水)に富士市役所市長室にて、蠟梅目録贈呈に引き続き、小長井市長より「感謝状」を頂きました。後日、事務局に飾っておきます。
 意見交換会では富士RCの10数名の理事が出席し、過去の岩本山整備事業の内容、「慈愛の丘」銘々理由について、歴史に詳しい宮下会員より説明してもらいました。
 市長も大変関心をもっており、樹木の明細、開花時期等について質問され、「富士RCの尽力で市民の憩いの場として公園が維持できており本当にありがたい。」感謝されました。
 席上、報道関係も同席しましたので、富士市立中央病院に対する「未熟児用オムツの寄贈」、「日本盲導犬協会への募金活動」等 富士RCの知名度を高めるため、事業活動をPRしました。



幹事報告

岸 本 泰 次

①例会変更のお知らせ

富士山吉原RC 12月15日(木) 忘年家族会
 12月29日(木) 特別休会

MUは、15日と29日 11:30~12:30ホワイトパレスフロント

富士宮RC 11月21日(月)→特別休会
 11月28日(月)→夜間例会
 12月5日(月)→12月3日(土)
 ファミリー忘年会 夜間例会
 富士宮西RC 11月11日 訪問例会
 柿田川RC 11月14日(月)→裁量休会〈サインMU有り〉
 11月21日(月)→通常例会
 11月28日(月)→12/4(日)グラウンドゴルフ大会
 〈サインMU有り〉※サインのみメイクアップ受付は7、14、28日です。

■例会場/沼津卸商社センター

411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500 駐車場は建物裏手(西側)

■ご注意

- *メイクアップにお越し頂ける場合は、食事の手配の関係上事前に事務局(055-969-2321)までご連絡頂きますと助かります。
- *サインのみメイクアップ受付時間は、11:30~12:30となります。

②ガバナー事務所よりお知らせ

・11月ロータリーレート 102円

③会報回覧

富士宮クラブ 京都洛南クラブ 市難連ふじ

親睦委員会

野坂富士雄

会員誕生日	榮 賀 明	S23.11.29
夫人誕生日	植田由美子	11.15
	吉野美和子	11.21
	宮下和美	11.24
	石橋敬子	11.27
結婚記念日	植田真晴	H3.11.9
	田邊登崇	H11.11.13
入会記念日	石井 誠	H22.11.10
	中島康治	H5.11.17



お誕生日
おめでとう
ございます

例会プログラム予告

12月7日 年次総会

12月14日 クラブフォーラム 会員増強維持について

☆私のスマイル

等 健次君 米国大統領選挙、ハラハラドキドキです。
中島康治君 何となく。

山下いづみ君 盲導犬パーパス君はがんばりましたね！
植田眞晴君 平成28年11月9日、本日結婚25年を迎えました。 ロング アンド ワインディングロード これからも余分な事は言わずに辛抱強く生きて行きたいと思います。

川村統勇君 医師会の旅行で、紅葉・マツタケ・上田城を楽しんで来ました。

赤堀浩子君 10月30日のゴルフコンペでは、バスグロ常習者の井出さんの落ち着いたプレーや、榮賀さん、石井さんの軽妙なトークで気分良くプレーでき優勝することができました。

出席報告

野坂富士雄

2557回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
33名	33名	6名	27名	81.8%

2555回 10/19確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
33名	33名	6名	27名	81.8%

《日本盲導犬協会への募金活動》

社会奉仕活動で、日本盲導犬協会支援事業を行いました。11/6富士市中央公園での商工フェアにブースを設け盲導犬協会の方と一緒に盲導犬育成募金と盲導犬との触れ合いを実施しました。

募金金額 73,596円



第410回富士ロータリークラブゴルフ同好会

大富士ゴルフ場

(開催日2016.10.30)

順位	プレーヤー名	甲斐	駿河	GROSS	HDCP	NET
優勝	赤堀 浩子	44	49	93	25.0	68.0
準優勝	宮下 和美	50	51	101	32.0	69.0
3位	町田 升伯	51	46	97	25.0	72.0
4位	井出 清章	42	43	85	13.0	72.0
5位	宮下 正雄	52	57	109	36.0	73.0
6位	瀬尾 究	48	49	97	21.0	76.0
7位	瀬尾 紘子	51	52	103	26.0	77.0
8位	内山 泉	51	50	101	24.0	77.0
9位	池田 正明	47	50	97	18.0	79.0
10位	石井 誠	63	54	117	32.0	85.0
11位	榮賀 明	51	56	107	18.0	89.0
12位	野坂 富士雄	49	57	106	15.0	91.0

会員卓話

株式会社 ヨシノロジコ

代表取締役 吉野 榮司君

トラック輸送産業の概況



我が国における国内貨物総輸送量は年間約47億トンです。輸送手段としてはトラック、航空、鉄道、海運などがありますが、そのうちでトラック輸送が占める割合が91.3%、重量は43億トンであります。これは、国内貨物のほとんどの部分を陸上輸送が担っているということになります。

日本経済を活性化させるために国が行っている方法の一つにキャッシュフローを良くすることがありますが、貨物も同じです。活発に日本国内外に物が流通すれば、経済を活性化させる大きな原動力となります。

しかるに、我が国の現状を見てみますと、トラック輸送産業にとっては非常に厳しいと言わざるを得ません。

その厳しい現状を表す資料の一つとして、売上高に占める物流コストの比率の低下が挙げられます。平成8年に6.58%だったコスト比率が、平成26年度には4.7%にまで低下しています。国がインフレ目標を掲げていても、物価は下がり続けている昨今、どの業界も価格競争に巻き込まれている中での物流コスト比率の低下は数字で見える以上に厳しいものがあります。そして、経済の活性化のために行われてきた規制緩和が、それに拍車をかけています。それが平成2年12月に施行された物流二法です。(貨物自動車運送事業法、貨物運送取扱事業法)(区域と路線)

以前は、運送業を始めるためには、国の審査を受け、その企業が経営状態や設備など事業を行うに相応しいと認められた企業のみが免許を与えられていましたが、規制緩和が進んだ結果、許可から届出制になり、さらに事後の届出制となり、誰でも気軽に始められるようになりました。

平成2年には約4万社だった事業者数が、平成26年には6万社を超えております。気軽に始められるようになったことにより、運送業者も玉石混交となりました。その結果、採算を度外視した料金設定をする業者や、無理な日程での運行計画を立てる業者などが生まれました。一度その無理な設定を行うと、それが常態化していってしまいます。

今現在、トラック輸送業界は、様々な問題を抱えております。その中の一つに、若年層のドライバー不足による高齢化及び人手不足があります。その主な原因として、低賃金、長時間労働が挙げられます。無理な運行での輸送計画が常態化したため、その納期に間に合わせるためにどうしても長時間にならざるを得なくなります。また、採算を度外視した料金設定も一部常態化し、ドライバーに支払う賃金も伸び悩んでおります。その結果、長時間でつく、しかも低賃金のドライバーになりたいという若者が減少しました。(中略)

このように、行き過ぎた規制緩和は様々な弊害を生み出しているのが現状です。

このような状況の中にも、トラック運送業界は『安全で安心な輸送サービスを提供し続けること』が社会的使命であり、常に「安全」を最優先とし環境対策や労働対策などとともに、トラック産業の将来に向けた様々な取り組みが進められています。

物流というのは目に見えるものではありません。スーパーでリンゴを一個、手に取るように見ることはできません。しかし、どんなに技術が進歩しても、その商品を届けるのは人の手でしかないのです。(将来的には、自動車の自動運転の様に人の手を介さずに届けることができるようになるかもしれませんが…)

編集者 佐藤 昌久